

I-4 鳥取県倉吉市立上北条小学校

(1) 〒682-0003 鳥取県倉吉市新田405番地1

【学年別学級数】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	障害児	合計
学級数	2	1	1	1	1	1	1	8
児童数	33	19	30	29	28	33	1	173

【教職員別人数】

校長	教頭	教諭	養護教諭	事務主任	学校主事	司書	講師	合計
1	1	9	1	1	1	1	1	16

(2) 学校の沿革

- 平成 2年 ○オープンスクールとして開校
 3年 ○才能開発実践教育賞受賞
 4年 ○学力向上研究推進校に指定（～平成6年）
 5年 ○文部省・県教育委員会来校、ティーム・ティーチングの授業参観
 ○第1回自主研究発表会
 ○文部省教育助成局・国立教育研究所・倉吉市議会議員来校、ティーム・ティーチングの授業参観
 6年 ○文部省初等中等教育局・鳥取県議会議員来校ティーム・ティーチングの授業参観
 7年 ○第2回自主研究発表会
 8年 ○鳥取県教育委員会より教育表彰受賞
 9年 ○第3回自主研究発表会
 11年 ○創立10周年記念式
 12年 ○県新教育課程推進校指定・並びに第4回自主研究発表会
 13年 ○鳥取県中部小学校教育研究会指定 家庭科研究発表会
 14年 ○鳥取県小学校教育研究会指定・並びに第5回自主研究発表会

(3) 最近の研究動向（総合学習に関連した）と「内容系列表」の作成

平成8年度と平成9年度は、「共に支え合い高め合う仲間づくり」を基盤として、同和教育の充実のもとに学級・学年経営さらに学年部経営を進め、自尊感情の育成を図りながら子ども一人一人のよさが生かされる学習のあり方を考えてきた。

平成10年度・平成11年度には、これまで取り組んだ同和教育を柱とした総合的な学習を環境問題等今日的な課題や子どもの興味・関心等に広げながら取り組んできた。

平成12年度は、サブテーマ「個が生きる多様な学習活動」を掲げ、総合的な学習の指導の在り方を中心に、育てたい力や指導内容、年間カリキュラム、評価など学習指導の創造と改善を図ってきた。「内容系列表」はこの年に作成され、以後、改善を加

え、今日に至っている（次頁参照）。

平成13年度は、総合的な学習と家庭科の研究実践を通して個人としての生活的な自立や生き方の探究の育成に努めた。

平成14年度は、生活科・総合的な学習を中心として、個の生き方を培う授業づくりと評価の研究推進を図ってきた。今回の5年生の授業と評価の実践報告はその成果の一部をなすものである。

総合的な学習の時間の内容系列表

鳥取県倉吉市立上北条小学校

視点	ねらい	課題	学年	3学年	4学年	5学年	6学年
			内容				
生活者としての自分	人や社会との関わり	人権	<ul style="list-style-type: none"> a. 他者への尊重・尊敬・思いやりなどの豊かな人間性を育む。 b. 反差別の立場に立って人権を守ろうとする態度を育てる。 c. 問題意識を持ち仲間と共に解決していく力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 障害のある人などお互いの立場や個性の違いを認め合う。 b. 様々な人々の良さに学び、協力の輪を広げようとする。 c. 公正な判断と協調の気持ちをもって最後まで活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> a. お互いの立場や違いを認め、思いやりの心を持つ。 b. 差別や偏見を許さず、互いに支え合う仲間づくりをする。 c. 自分で問題を見つけ仲間と一緒に問題解決をしようとする。 		
		国際理解	<ul style="list-style-type: none"> a. 異文化理解及び異文化尊重の態度を育てる。 b. 共生（国際交流・協調）していく資質や能力を育てる。 c. 自国の歴史や文化の理解を深めるとともに、自己の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 他地域・外国との類似点や相違点に気づき、お互いの国の文化を大切にしようとする。 b. 共に活動しかかわり合う中でお互いのよさを見つけようとする。 c. 郷土の歴史・風俗・習慣などに関心を持ちふるさとに愛着を持つようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 世界中の国々に様々な文化や特色があることを知り、関心をもって視野を広げようとする。 b. いろいろな考えを持った人々と積極的に交流しようとする。 c. 歴史や文化等を通して地域社会や日本と外国とのつながりが分かり、それらを大切にしようとする。 		
	環境	<ul style="list-style-type: none"> a. 身近な環境問題を通して、自然や環境への関心を高める。 b. 環境問題と自分たちのくらしとの関わりについての理解を深める。 c. よりよい環境を作ろうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 身近なくらしの中から環境に関わる問題を見つける。 b. 自分たちのくらしと環境との間に関連があることを理解する。 c. 自分たちにできる環境保全に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分たちの生活には、様々な環境問題が存在することに気づく。 b. 環境との関わりにおいて、自分たちのくらしを見直すことができる。 c. 身近な環境保全に積極的に関わり、環境を守ろうとする。 			
自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさや自分自身のよさに気づき、仲間とともに前向きで人間らしく生きる道を切り開くことができる。 ・心身の成長を実感し、自他を受け入れ、他者との間に豊かな人間関係を築くことができる。 	自分の成長と進路	<ul style="list-style-type: none"> a. 健康で安全な生活について理解を深め、実践することができる能力や態度を育てる。 b. 成長にともなう個人差や男女差を理解し、お互いの人格を認め合う態度を育てる。 c. いろいろな人との交流を通して自己の生き方を考え、他者を思いやる態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 健康な生活を送るための必要な事柄に関心を持ち、健康的な習慣・態度を身につける。 b. 男女の体つきの変化や個人差・性差があることを知り、男女が協力できるようにする。 c. いろいろな人と関わる中で、相手のよさや自分のよさにも気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 健康を維持していくためにも、よりよい生活環境を創造しようとする態度を身につける。 b. 体の成長にともなって心も成長していることを知り、よりよい人間関係を築こうとすることができる。 c. いろいろな仕事に従事している人の生き方にふれ、自己の生き方を考えるようにする。 		